

看護職臨床リーダー

2022.3改訂 ふくの若葉病院

レベル		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の定義		基本的な看護手順に従い必要に応じて助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護実践能力	ニーズをとらえる力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を受けながら患者や家族のニーズをとらえることができる</p> <p>①機能的健康パターン11項目を理解できる ②助言を受けながら、機能的健康パターンの視点に基づいて受け持ち患者の情報を得ることができる ③助言を受けながら、担当患者の看護計画の立案ができる ④患者・家族と良好な関係構築ができる</p>	<p>①患者のニーズや患者に存在する問題点を捉える為に、必要な情報を意図的に収集することができる ②患者・家族と良好な関係構築をするためのコミュニケーションスキルを身に着けることができる</p>	<p>①対象を全人的にとらえた観察ができる ②情報の統合と考察により、看護介入上の問題点やニーズを明確にできる</p>	<p>①治療やケアの方向性を把握し、患者・家族のニーズとのすり合わせができる</p>	<p>①根拠を明確にしなが、看護上の問題点を導き出せるよう指導的な関わりができる</p>
	ケアする力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を得ながら基本的な看護援助が安全に実践できる</p> <p>①カルテの書き方がわかる ②適切な表現で記録できる ③助言を受けながら、立案された看護計画を実践できる ④医療安全に必要な知識・行動を理解し実践できる</p>	<p>①情報をもとに、自立して看護計画立案と実践ができる</p>	<p>①患者ニーズや問題点の優先順位を考慮した個性のある看護計画を立案できる ②実施した看護の有効性を考察し、評価・修正できる</p>	<p>①複雑な対応が必要となる場合にも、解決に向けた適切な計画立案と実践ができる</p>	<p>①看護実践の役割モデルとなり、専門性を発揮し、指導的な行動ができる。 ②複雑な対応が必要となる場合にも、解決に向けた適切な対応を助言できる</p>
看護実践能力	協働する力	<p>目標</p> <p>医療チームに必要な多職種を理解し協力できる</p> <p>①チームメンバーと良好な関係構築ができる ②チームメンバーの一員として協力・連携をとることができる</p>	<p>①看護展開に必要な関係者を特定し連携できる ②チームメンバーや他職種の思いや考えを知り、連携して実践できる</p>	<p>①他職種と連携した看護実践ができる</p>	<p>①患者を取り巻く他職種の力を調整し、連携できる</p>	<p>①患者の複雑なニーズに対応できるように、他職種の力を引き出し連携できる</p>
	意思決定を支える力	<p>レベル毎の目標</p> <p>患者や周囲の人々の意向を知ることができる</p> <p>①助言を受けながら、患者や周囲の人々の思いや希望を知ることができる</p>	<p>①患者や家族などの意向を自らとらえ、受け止めることができる。 ②確認した患者や家族の思いや希望を看護に関連づけることができる。</p>	<p>①患者や周囲の人々の意向を理解し、支援できる</p>	<p>①倫理的課題を理解し、意思決定支援プロセスを理解し、支援者として行動できる</p>	<p>①複雑な意思決定プロセスにおいて、他職種も含めた調整的役割を担うことができる</p>
看護実践能力	組織の一員としての自覚・役割	<p>レベル毎の目標</p> <p>ふくの若葉病院の職員として、責任ある行動ができる</p> <p>①社会人としての基本的マナーを身につけ、行動できる ②病院理念や当該部署の目標を理解できる</p>	<p>①委員会や組織事業に参加し、協力できる</p>	<p>①リーダーシップ・メンバーシップを発揮し、部署目標の達成に向けて行動できる。 ②医療安全意識を高く持ち、部署全体の風土づくりに協力できる ③日常の看護実践や業務に問題意識を持ち、研究的視点を持って行動できる</p>	<p>①組織目標や方針を理解し、達成に向けた組織づくりに協力できる</p>	<p>①病院運営の中長期目標を理解し、達成に向けて部署の役割を考慮することができる ②療養環境・業務環境について状況把握と分析をし、質の高い実践ができる組織文化をつくること</p>
	人材育成	<p>レベル毎の目標</p> <p>院内研修に参加し実践に活かすことができる</p> <p>①院内教育計画を理解し、研修への参加と自己学習ができる</p>	<p>①人材育成に関心を持ち、協力できる</p>	<p>①人材育成メンバーの役割を理解し、働きかけができる</p>	<p>①人材育成事業に積極的に取り組むことができる</p>	<p>①看護・介護人材を組織的に育成できる</p>